

沖縄県立那覇工業高等学校
令和2年度「コミュニケーション英語Ⅱ」シラバス

科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位	2	学年	2	対象学科	全学科
使用教科書	(コ I350) Viva! English Communication II (第一学習社)		副教材等	同教科書準拠 WORKBOOK(第一学習社)			

学習の到達目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。</p> <p>具体的言語活動は次の通り。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>
---------	---

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

学期	月	日	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
1 学 期	5 ・ 6 月		オリエンテーション	「コミュニケーション英語Ⅱ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法、などについて説明する。					
		1 学 期 中 間 考 査	Lesson 1 <i>Emoji Communications</i>	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵文字やスタンプについての対話を読み取らせる。 ・絵文字やスタンプは海外でも人気があることについて自ら考えさせる。 ・絵文字やスタンプが持つ効果について、自分の意見を発表させる。 <p><文型・文法事項></p> <p>S+V+O (=疑問詞節・接続詞 if-節) / S+V+O+O (=that-節) を理解し、文を作ることができる。</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	7 ・ 8 月	1 学 期 期 末 考 査	Lesson 2 <i>Kendamas Worldwide</i>	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外でのけん玉人気について読み取らせる。 ・日本文化の海外での独自発展について自ら考えさせる。 ・日本文化の海外での受容の実態について発表させる。 <p><文型・文法事項></p> <p>比較表現を理解し、文を作ることができる。</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
				For Reading 1	<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意味のまとまりで区切った読み方を学習する。 ・英文を読み取り、情報を整理してタスクに対応する。 			○	○
			第1学期の評価方法	<p><評価の対象></p> <p>①中間考査及び期末考査の成績、②Lesson 1～4 の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。</p> <p>評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p>					

学年	月	学期	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
2 学 期	9 ・ 10 月	2 学 期 中 間 考 査	Lesson 3 I'm from Mars!	<題材内容とねらい> ・火星の気候や地学的特徴について読み取らせる。 ・自分が火星で生活することを想定し、考えさせる。 ・人類の火星探査について自分の考えを発表させる。 <文型・文法事項> 完了形を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り 組み ・課題などの提 出状況 ・評価問題
			For Communication 1	<ねらい> ・「申し出る」表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・場面に合った内容を考えながら、英語で適切に表 現する。 <言語の働き> 「申し出る」表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「レストラン」の場面にふまえた表現を使ってコミュ ニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業での取り 組み ・課題などの提 出状況
	11 ・ 12 月	2 学 期 末 考 査	Lesson 4 Appli Koshien	<題材内容とねらい> ・アプリ甲子園の内容や意義について読み取らせる。 ・アプリ制作の意義や考えられる困難なことについ て、自ら考えさせる。 ・自分の考えるアプリについて発表させる。 <文型・文法事項> 助動詞を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り 組み ・課題などの提 出状況 ・評価問題
			For Reading 2	<ねらい> ・主題文と支持文に注意した読み方を学習する。 ・英文を読み取り、情報を整理してタスクに対応す る。			○	○	・授業での取り 組み ・課題などの提 出状況
3 学 期	1 ・ 3 月	学 年 末 考 査	Lesson 5 Things Have Souls!	<題材内容とねらい> ・インダストリアルデザインと、その先駆者榮久庵 氏について読み取らせる。 ・身の周りで見られるインダストリアルデザインに ついて自ら考えさせる。 ・インダストリアルデザインについて調べたことを 発表させる。 <文型・文法事項> seem to ～, It seems that ..., 疑問詞+to-不定詞を 理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り 組み ・課題などの提 出状況 ・評価問題
			第3学期の評価方法	<評価の対象> ①学年末考査の成績、②Lesson 9～10, Reading, Further Reading の評価問題の成績、 ③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュ ニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
学年の評価方法			①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②外国語表現の能力、③外国語理解の能 力、④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合 的に判断して、年間の評価とする。						

※ Lesson 6 以降は3学年で履修。